

講義コード	201008F
講義科目名称	国際関係論【理学療法】
英文科目名称	International Relations Theories
講義期間	前期
学科	適用 - リハビリテーション学科理学療法学(2022)
配当年	1
単位数	2
科目必選区分	選択
担当教員	天野 修司
曜日・時限	前期 月曜日 1時限 3 1 1 教室

授業概要	米中対立やウクライナ危機など国際情勢は緊迫の度合いを増している。なぜ、国際社会において争いや摩擦が、繰り返し起きるのであるか。そのメカニズムを科学的な分析に基づいて解明するのが、国際関係論である。本講義では、その基礎知識を習得するとともに、国際情勢を正確に把握するための「思考力」を鍛える。
事前学習課題	新聞やテレビ、ネットなどで、世界のニュースを確認し、授業の内容との関連性について考える習慣を身につける。
成績評価の方法・基準	毎回のレポート課題（60％）、中間レポート課題（20％）、最終レポート課題（20％）で評価する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.	『国際政治学の理論』	天野修司	はるかぜ書房	2018	978-4990850869
2.					
3.					

参考図書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.					
2.					
3.					

教員からのメッセージ	本講義では、複雑な理論を多く学ぶため、毎回、意欲を持って授業に参加することが基本となる。グローバルな課題についての理解を深め、国際的な感性を持った医療人になろう。		
実務経験の内容及び経験に関連する授業内容	実務経験の有無：		
その他			
参考URL	表示名：		
	URL：		
授業方式	オンライン授業	対面授業	併用

	回数	テーマ	内容
授業計画	1	イントロダクション	国際関係論の全体像と現代的な意義を考察する
	2	国際関係論の萌芽	国際関係論の思想的起源を理解する
	3	繰り返し起きる戦争	戦争が、同じようなパターンで起きていることを理解する
	4	2つの世界大戦	2つの世界大戦を経て、国際関係論が体系化されたプロセスを理解する
	5	中間レポート	中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する
	6	中間レポート	中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する
	7	バランス・オブ・パワー理論	バランス・オブ・パワー理論の妥当性について考察する
	8	核抑止の理論	核抑止の理論の妥当性について考察する
	9	デモクラティック・ピース理論	デモクラティック・ピース理論の妥当性について考察する
	10	国際レジーム論	国際レジーム論の妥当性について考察する
	11	ゲーム理論	ゲーム理論の妥当性について考察する
	12	実践演習	実践演習を通じて、世界の今を正しく理解する
	13	ポスト・コロナの世界	国際関係論を用いて、ポスト・コロナの世界を分析する
	14	最終レポート	最終レポートの作成を通じて、国際関係論の妥当性について考察する
	15	最終レポート	最終レポートの作成を通じて、国際関係論の妥当性について考察する

授業計画	回数	テーマ	内容
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			